



人権教室を行いました

人権とは、誰もが幸せに生きるために守られるべき権利のことです。土居小学校では、学年の発達段階に応じて、人権の学習として道徳科を中心に様々な教科や活動の中で、いじめや差別を許さない心や、命の大切さ、優しく強い心を育み、実践力へとつなげています。

10、11月は人権・同和教育地域参観日や研究会、人権教室など、人権についてしっかり学ぶ学習をたくさん行いました。今回は4年生の人権教室の様子をお伝えします。11月24日（木）、3校時、人権教室を行いました。四国中央市の人権擁護委員6名の方が来校されました。初めに、「好きな色はなあに」のゲームをしました。赤、青、黄色、ピンクなど、様々な色の画用紙の中から好きな色を選んでグループを作りました。その後、同じグループになったメンバーで、どうしてその色が好きなのか伝え合いました。好きな色は人それぞれで、理由も様々。好きな色への個々の思いを知ることができました。

次にお話を聞いて、自分ならどうするのか考えて発表しました。登場人物の一人の子が、上級生から嫌なことを言われたりからかわれたりして学校に行くことがつらくなるという話です。

「友達と一緒に言いに行く。」「家族に相談する。」「クラスの人に伝える。」「先生に相談する。」「保健室に行って保健室で話を聞いてもらう。」「勇気を出して理由を聞く。」「相談ダイアルに電話する。」など、途切れることなく解決策を発表している様子を見て、優しく、差別やいじめを許さない心が育っていることが伝わってきました。最後に人権擁護委員の方から、「命の大切さを伝え、思いやりの心を広めることが人権擁護委員の役割です。みんなの周りには助けてくれる人がたくさんいます。一人で抱え込まず、辛いことや悩みがあったら相談してください。」と話してくださいました。子どもたち一人ひとりが人権について真剣に考え、思いを伝えることができた一時間でした。これからも、教職員が一丸となって、優しい心を育む学習を積み上げていきます。保護者の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

人権擁護委員の皆様、お忙しい中、土居小学校にお越しいただきありがとうございました。

